

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1572400479		
法人名	社会福祉法人 桐鈴会		
事業所名	グループホーム桐の花		
所在地	南魚沼市浦佐5141-5		
自己評価作成日	令和3年11月11日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/15/index.php?action_kouhyou_detail_2017_022_kani=true&JigyosyoCd=1572400479-00&PrefCd=15&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人新潟県介護福祉士会		
所在地	新潟県新潟市中央区上所2-2-2		
訪問調査日	令和3年12月23日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>○安心して過ごせる場所を目指して。 法人の理念の一つに「終の棲家を目指す」というものがある。桐の花でも希望に応じ最期の時まで過ごして頂いている。終の棲家にするためには「安心できる場所」である必要がある。歳を重ねる毎に起こる様々な機能低下に、困りごとや危険が無いように対応している。 安心には「信頼のおけるスタッフ」の存在も重要であると考え、利用者本位であるよう職員教育を行っている。桐の花に出入りする方々から、「入居者も職員も明るくて楽しそうにしている」「あったかい雰囲気だ」等の評価を頂いている。</p> <p>○健康で過ごせるために。 【食事】旬のものを使った料理を心掛けている。食材を見たり下処理しながら思い出話をしたり、「初物だね」と言いながら季節を感じて頂いたりしている。美味しく、しっかりと食べられるように配慮している。 【体操】食事をしっかり摂り続けるために、毎日嚥下体操をしている。大きな口を開けるために歌ったり笑ったりする機会を多く設けるようにしている。夕方からは体を動かす体操やゲームをしている。脳トレを意識して、考えたり笑ったりしながら楽しく参加できるよう工夫している。 【医療連携】月に2回、訪問診療と訪問看護による健康チェックがある。両者と24時間オンコールできる体制を取っていることは本人、家族、職員の安心要素となっている。「終の棲家」を目指すには看取りがつきものだが、充実した医療連携のおかげで穏やかな最期の時を過ごしてもらえている。</p> <p>○交流の機会 コロナの影響で外部との交流の機会が無いが、毎年来てくれる三味線の演奏者、毎週来て下さるお掃除のボランティアさんが継続して来てくださっている。会えるのを楽しみにしている。共用型の通所介護事業をしているため、毎日違う顔ぶれに会え、良い刺激となっている。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>○高い志に恵まれた環境と理念に基づいたサービスの実践 事業所母体である社会福祉法人桐鈴会は「共に育つ会」の住民運動から生まれ、「高齢者、障がい者、子供達が安心して住める社会を創ろう」を目指し、地域に根ざした事業所を展開している。そうした高い志の下で運営されているグループホーム桐の花は19年目を迎えている。また、併設の地域交流伝承館「夢草堂」は、上越地方のお寺を移築した温もりのある空間であり、地元で愛され地域の中でも地域交流の場として定着しており、利用者や家族からも利用されている。新幹線の浦佐駅や高速道路からもアクセスがよく、遠方の家族も来訪しやすい立地に位置している。事業所のサンルームからの風景は、豊かな自然の田園と八海山連峰を眺めながら、季節感を感じ地域の生活が目にできる場である。ウッドデッキでは、プランターで野菜を育て外気浴を楽しむことができる。職員全員で見直された事業所の理念「大切な人が心地よく過ごせる場所を目指す」を実現し安心して住み続けられる環境となっている。</p> <p>○その人らしい暮らしを支援するためのチームワーク 利用者一人に対して職員3名が担当者になり、多角的な視点で利用者をより理解できるよう努めている。介護計画の実践後の評価は、利用者の様子等をしっかり観察し丁寧に文章化されている。また、利用者の何気ない動作に共感し、職員全体で共有することで誇りをもった対応に繋げている。一人ひとりの思いに耳を傾け、最期まで利用者の尊厳を守りつつ優しく寄り添いながら支援している。</p>
